

世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような資料情報をご紹介します。

食品ロス


最近の新聞記事から（要約）

「世界食糧計画に平和賞 国連機関、「飢餓と闘う努力」 ノーベル賞」（朝日新聞 2020年10月10日朝刊）

世界食糧計画（WFP）は、食糧不足から飢餓状態にある地域に対して、食糧支援の主導的役割を果たすことにより、地域の安定や平和に貢献していることが評価され、ノーベル平和賞を受賞した。

10月16日は世界食糧デーであり、WFPでは、「ゼロハンガーチャレンジ 食品ロス×飢餓ゼロ」キャンペーンを実施中（9月・10月）です。日本では、年間推定600万トン以上のまだ食べられる食品を廃棄しており、大きな問題になっています。食品ロスの削減は、国連による持続可能な開発目標（SDGs）が掲げるターゲットのひとつで、国内では「第4次循環型社会形成推進基本計画」で家庭系、食品リサイクル法の基本方針で事業系食品ロスについて2030年までに2000年度比の半減を掲げています。令和元年10月1日には「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行され、国・行政機関、事業者、消費者それぞれに対して行動が求められています。

【現状・課題】

<p>[食品ロス削減] 食べもののムダをなくそうプロジェクト</p>	<p>消費者庁 https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/</p>	<p>Web 情報</p>
<p>「食品ロスの削減の推進に関する法律」の概要や、食品ロスの基本的な情報、統計、教材、自治体や民間団体の取り組み事例、関係省庁等へのリンク集がある。Web上で最初に見る情報として有用である。</p>		
<p>食品ロスの経済学 増補改訂新版</p>	<p>小林富雄著 農林統計出版 2020年 西部：61132/8</p>	
<p>食品が製造されてから消費されるまでの間に発生する様々な食品ロスの原因を探り、需給バランスの調整による過剰供給の解消など、食品ロスの削減策を提示している。食べ残しを持ち帰るドギーバックや、フードバンク、食品リサイクルについての考察も含まれる。</p>		
<p>書名・記事名</p>	<p>出版情報等</p>	
<p>特集：「食品ロスの削減の推進に関する法律」について</p>	<p>『食と健康』 日本食品衛生協会 2019年11月号 (755号) p8-16 西部</p>	
<p>同法律において「国民運動」に位置づけられる食品ロス削減について、行政、事業者、消費者の責務や、基本施策をコンパクトにまとめている。条文や要綱、概要版は、上記の消費者庁ウェブサイトでも見られる。</p>		

【対策事例・自治体編】


<p>書名・記事名</p>	<p>出版情報等</p>	
<p>食品ロスポータルサイト 食べ物を捨てない社会へ</p>	<p>環境省 http://www.env.go.jp/recycle/foodloss/index.html</p>	
<p>自治体の担当者が最初に見る情報としておすすめである。食品ロス発生状況調査に関する国の支援、削減目標や計画の設定、取り組み事例などが掲載されている。消費者、事業者向けのページも設けられている。</p>		

特集：食品ロス削減、自治体も奮闘	『日経グローバル』 日本経済新聞社 2019年10月4日号 (375号) p6-17 中央 雑誌
自治体の事例を取り上げている。食品ロス対策で先行する京都市では、小売り業者との協働により加工食品の販売期限を従来よりも長く設定し、廃棄削減と売上げ上昇につなげ、消費者の好感も得ている。関係者間のコンセンサスの取り方が成果につながることを予感させる事例である。	
特集：「食品ロス」にどう向き合うか	『都市問題』 後藤・安田記念東京都市研究所 2018年2月号 (第109巻第2号) p1-44 中央 雑誌
前述の雑誌にある以外にも京都市では家庭ごみ細組成調査を30年以上にわたって行っている。都市部でのアンケート調査の分析から家庭の食品ロスの原因となる行動・意識についての考察がなされている。	
特集：市民といっしょに食品ロス対策	『月刊廃棄物』 日報ビジネス 2019年10月号 (第45巻第10号) p3-25 西部 雑誌
農林水産省と環境省による支援内容や、食品ロス削減に向けたポイントがコンパクトにまとめられている。ICT活用事例として、NPO法人ごみじゃぱんのアプリ「食品ロスダイアリー」の紹介がある。啓発活動や広報は、先行事例を巧みに取り入れた姫路市の事例が参考になる。	

【対策事例・業界編】

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 食品産業 ～持続可能な社会と食品産業発展のために私たちにできること～	農林水産省 Web情報 https://www.maff.go.jp/j/shokusan/sdgs/index.html
食品産業界でのSDGsの取り組み事例を紹介している。事業者名やSDGs目標別にインデックスがあり、食品ロスを含むSDGsの取り組みを検討している食品産業関係者の方におすすめである。	
食品ロス・食品リサイクル	農林水産省 Web情報 https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/index.html
事業者向けの情報提供や、外食・スポーツイベント等における対策ガイド・啓発資材を提供している。商慣習検討ワーキングチームの活動報告、シンポジウムの報告、食品事業者の取り組み事例が見られる。	
特集：食品ロス 一発生メカニズムと対策一	『農業と経済』 昭和堂 2018年4月号 (第84巻第4号) p6-89 東部 雑誌
食品ロスによる経済損失や環境負荷についての考察がある。製造・配送・販売事業者の商慣習や期限表示、消費者（家庭）の購買行動や意識、それぞれの動向と削減の取り組みを紹介している。	

【対策事例・フードバンク編】

フードバンクの多様性とサプライチェーンの進化	小林富雄・野見山敏雄編著 筑波書房 2019 東部：6113/78 図書	
提供された食品を無償で配布するフードバンク活動が食品ロス対策のひとつに位置づける国もあります。貧困対策、環境問題の解決、農産物の需給調整など多面的な機能を持つフードバンクについて、海外の先進事例の分析や、国内の現状と課題の整理がある。		

(インターネットの最終確認日：2020年10月10日)

作成：千葉県立西部図書館